

## 平成23年度予算案について

(H23. 02. 07記者発表)

平成23年度予算につきましては、4月に市長選挙を控えておりますことから、義務的経費や繰出金などの経常的経費のほか、投資的経費を含め、継続的な事業のうち6月補正では支障があるもの、新規事業につきましても、年度当初から実施すべき事業などを中心とした「骨格予算」として編成したところであります。



今回の骨格予算編成にあたりましては、市内の経済・雇用環境の向上を図り、市民生活に安定と安心をもたらすため、昨年末に策定いたしました「市民生活の安定に資する緊急経済対策」の一環として、先月には12億円あまりの補正予算を計上しておりますが、

新年度予算におきましても、6月の政策予算が成立するまでの間、市政運営に空白が生じないように、今回の骨格予算へ重点的に配分し、切れ目のない予算執行に配慮したところであります。

予算編成の基本的考えは、長期的視点に立って、自主・自立の行政運営と安定した財政基盤の構築を図りながら、本市が有する「特性・優位性・可能性」を踏まえた個性あるまちづくりを目標とし、

「財政標準化計画」の目標達成を基本としつつ、大型事業である勇舞中学校建設事業や増加する社会保障費などの財源を確実に措置しながら、現下の厳しい景気・雇用情勢を踏まえ、一定の事業量を確保しようとするとともに、雇用・経済活性化策などの施策を盛り込んだところであります。

特に、「第6期総合計画」のスタート年として、本市の有する「都市

力」と「市民力」の勢いをさらに伸ばし、都市としての魅力を高め、まちの持続ある発展を目指したいという気持ちを込めて「みんなで生き生き“勢長”予算」として、取りまとめたところであります。

この結果、一般会計総額では、423億1,577万円となり、前年度予算と比べ、9億7,087万円、2.2パーセントの減となっております。

また、特別会計では6会計の総額で125億373万8千円となり、前年度予算と比べ3億5,608万2千円、2.9パーセントの増となりました。

これに公営企業会計を加え、総体で682億5,279万8千円の規模として取りまとめたところであります。

この予算案につきましては、3月1日に開会予定の第1回定例市議会に提案してまいりたいと考えております。